

Point1: ベニヤ板(重要度:★★★★★)

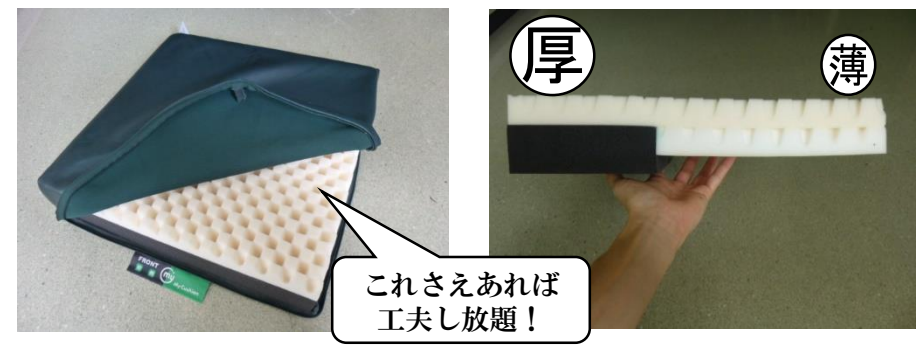
車いす利用者にとって、クッションはパンツのようなものです。必需品ですが、クッションは単品で使用するとお尻の下をフワフワにしてしまい、なななんと！
余計に座位を崩す原因になるんです。これマジです。
クッションを使用する時は、**必ず下に板を敷きましょう**。板があるとお尻が安定し、座位だけじゃなく立位も食事も会話も格段に快適になります。板が生活をつくるんです。



ずいけ座りや傾きは

Point2: クッションー工夫(重要度:★★★★★)

板を敷いた後は、クッション自体に工夫をします。クッションは**前方を厚く**すると体が起こしやすくなる効果があり、**後方を厚く**すると立ち上がりしやすくなります。骨盤が傾いている人は、低いほうを数cm厚くしてあげると傾きが整いますよ。
※おすすめ: **総ケーブルマイクロッション**(防水カバー付き)



車いす座位の崩れが一瞬で直る方法！

Point3: 背もたれづくり(重要度:★★★★★)

車いすの背もたれは絶壁で、もたれることができません。もたれられないから、右か左かに傾きます。後ろに快適な背もたれがあれば、傾きは一瞬で直ります！
背もたれは、ヒモ1本あればつくれます。つまり、**ヒモ1本で傾きは解決**するんです！



利用者のせいじゃない

Point4: 骨盤サポート(重要度:★★★★★)

Point1~3をしっかりやれば、95%の利用者はキレイに座れます。うまくいかなかったとすれば、利用者のせい！ではなく、車いすのせいなんです。ために、その車いすに『**あなた自身**』が座ってみてください。
必ず不快な場所、違和感がある場所が見つかります。次はそれを直しましょう。

それでもダメなら、骨盤の後ろにサポートを入れます。ここまでやると、快適すぎて車いすから離れたくなくなります。笑
それでもどうしてもダメなら.....もう僕を呼んでください！ 必ず結果をだします。

